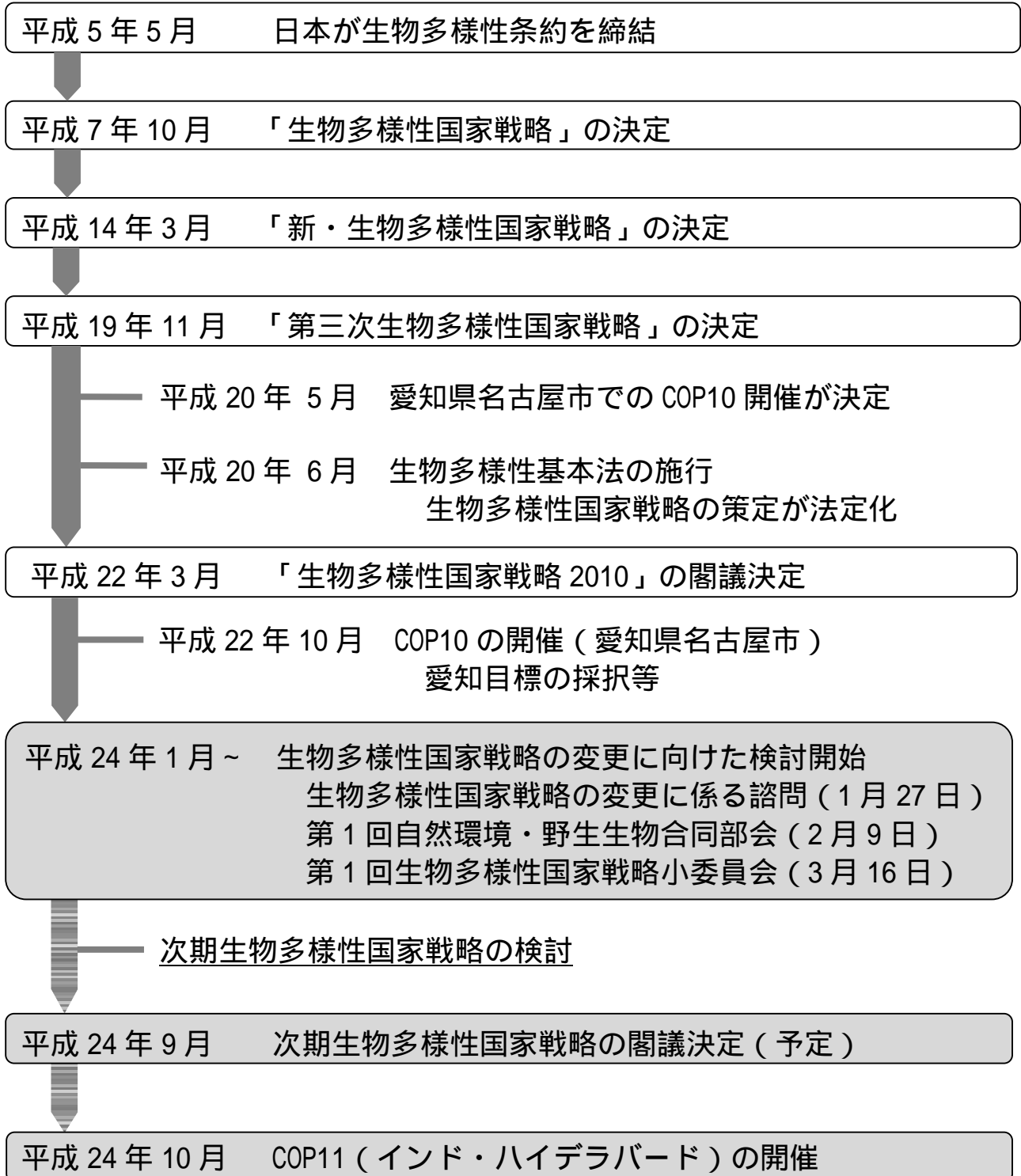


# 生物多様性国家戦略小委員会における検討の進め方について

## 1. 生物多様性国家戦略の位置づけ

- ・生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する国の基本的な計画として、生物多様性条約及び生物多様性基本法（平成 20 年施行）に基づき策定。

## 2. これまでの経緯等



### 3. 生物多様性国家戦略の変更に向けた今後の進め方

#### (1) 変更の背景等

- ・現行の生物多様性国家戦略は、生物多様性基本法(平成20年法律第58号)に基づき、平成22年3月に閣議決定されている。
- ・下記背景等を踏まえ、平成24年10月にインドで開催される生物多様性条約第11回締約国会議(COP11)に間に合うよう、平成24年9月の閣議決定を目指して見直しを実施する。

現行の生物多様性国家戦略の計画期間は、概ね平成24年度までとされていること

COP10において採択された愛知目標において「2015年までに、各締約国が、効果的で参加型の改定生物多様性国家戦略及び行動計画を策定し、政策手段として採用し、実施している(目標17)」ことが盛り込まれるなど、COP10の成果を踏まえた見直しが求められていること

#### (2) 次期国家戦略の作業方針

##### 愛知目標の達成に向けたロードマップの提示

- ・生物多様性の状況や取組の優先度等に応じた国別目標を設定し、愛知目標の達成に向けた我が国のロードマップを示す。
- ・目標の達成状況を測るための指標についても世界に率先して検討する。

##### 生物多様性地域戦略の指針となるべき事項の具体的提示

- ・都道府県及び市町村は、生物多様性国家戦略を基本として、生物多様性地域戦略の策定に努めることとされているが、策定済みの自治体は15道県11市に留まっている。このため、生物多様性国家戦略において生物多様性地域戦略の策定に向けた指針を具体的に示し、生物多様性地域戦略の策定と同戦略に基づくボトムアップ型の取組を促進する。

##### わかりやすさ、読みやすさの工夫

- ・必要に応じて構成を見直すとともに、ページ数の削減に努め、わかりやすく、読みやすいものとする。

#### 4. 生物多様性国家戦略小委員会における検討

- ・「生物多様性国家戦略小委員会の設置について」(平成21年7月9日 自然環境・野生生物合同部会決定)に基づき、自然環境・野生生物合同部会に置かれた生物多様性国家戦略小委員会において、生物多様性国家戦略の変更案の検討を行う。

##### < 生物多様性国家戦略小委員会 委員名簿 (五十音順、敬称略) >

氏名	現職
あん・まくどなるど	上智大学大学院地球環境学研究科教授
磯部 力	國學院大学法科大学院教授
磯部 雅彦	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
大久保 尚武	経団連自然保護協議会会長
小泉 透	(独)森林総合研究所野生動物研究領域長
櫻井 泰憲	北海道大学大学院水産科学研究院教授
佐藤 友美子	(財)サントリー文化財団上席研究フェロー
下村 彰男	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
白幡 洋三郎	国際日本文化研究センター教授
白山 義久	(独)海洋研究開発機構理事
武内 和彦	東京大学大学院農学生命科学研究科教授 (委員長)
辻本 哲郎	名古屋大学大学院工学研究科教授
土屋 誠	琉球大学理学部教授
中静 透	東北大学大学院生命科学研究科教授
中村 太士	北海道大学大学院農学研究院教授
堀内 康男	国立公園関係都市協議会会長(黒部市長)
宮本 旬子	鹿児島大学大学院理工学研究科准教授
山岸 哲	新潟大学超域研究機構朱鷺プロジェクト特任教授 (委員長代理)
吉田 謙太郎	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授
吉田 正人	IUCN 日本委員会会長 (筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授)
鷺谷 いづみ	東京大学大学院農学生命科学研究科教授

(以上 21 名)

## 5. 生物多様性国家戦略の変更に係るスケジュール（案）

- 1月27日 関係省庁連絡会議
- 2月 9日 中央環境審議会自然環境・野生生物合同部会  
（国家戦略の変更に係る諮問等）
- 3月～5月 中央環境審議会生物多様性国家戦略小委員会  
（国家戦略変更案に係る検討等）

第1回小委員会（3月16日（金））

- ・検討の進め方
- ・各省施策ヒアリング

第2回小委員会（4月12日（木））

- ・関係団体ヒアリング
- ・次期国家戦略において検討すべき事項

第3回小委員会（4月23日（月））

- ・次期国家戦略（素案骨子）の検討

第4回小委員会（5月14日（月））

- ・次期国家戦略（素案）の検討

第5回小委員会（5月31日（木））

- ・次期国家戦略（案）の検討

- 6月～7月 パブリックコメントの実施（1ヶ月）及び結果整理

- 8月 中央環境審議会自然環境・野生生物合同部会  
（次期国家戦略の案の検討、答申）

- 9月 関係省庁連絡会議

閣議決定

- 10月 生物多様性条約第11回締約国会議（COP11）  
（於：インド・ハイデラバード）